

# 局長序

2012年、私達は引き続き南科運営の「3つの基本政策」を推進し、輝かしい成果を挙げました。

産業集積の促進 — 新たに20社を誘致し、入居企業数は有効認可ベースで累計186社に達しました。営業額は6219.6億元、園内の就業者数は6万4887人と、いずれも過去最高を更新しました。ウエハ製造の両雄、台積電と聯電も7400億元の追加投資を決め、南科は今後も安定的に成長することが期待されています。

環境にやさしい持続可能な工業園區の建設 — 「2012台湾企業永續報告獎」の非営利組織の部で最高ランクの金賞及び「最佳CSR網頁資訊揭露獎」を公共部門として初めて受賞しました。資源再生センターは廃棄物処理機関として第一号となる「2012年度經濟部節約能源優等獎」を獲得。また、新たに4社がグリーン工場の認定を受け、ダイヤモンド級グリーン建築の数も7社まで増えました。これは全国一の密度を誇ります。

文化芸術の推進 — 園區全域を対象とした芸術化計画を推進し、公共施設の建設、補修にあたっては芸術的要素を加味するようにしています。給水塔の芸術的外装工事、トイレの壁絵、変電箱の芸術化など、公共空間の質的向上を図り、価値を高めることで、文化芸術の根付いた工業園區を目指します。

2013年の年明け早々、南科は全国初のダイヤモンド級エコ・コミュニティ・グリーン建築認定を受けました。南科はさらに一步前進し、科学工業園區を「効率駆動」から「創新駆動」へ転換させようという国家科学委員会の政策に従って園區におけるイノベーションと創業をサポートし、台湾の技術革新の道を切り拓いていく所存です。

南部科学工業園區管理局 局長

